

気温は高く、日照時間は多く経過する見込み！ 土壤乾燥が続く場合は、かん水を行い、 乾燥ストレスを防止して収量向上！ また、適期防除で高品質な大豆生産を目指しましょう！

大豆は、開花期から登熟初期にかけて多量の水を必要とします。この時期に土壤水分が不足し乾燥ストレスがかかると、花数の減少や落花、落莢による結実数の減少、百粒重の低下など、生育収量に大きく影響します。

これから無降雨期間が続く、土壤乾燥が進む場合には、かん水を実施し、着莢率の向上や、粒の肥大を図ることが重要です。

1 かん水の判断とタイミング

- ◎開花期以降に土壤表面が白く乾燥し、その先も降雨の見込みがない場合はかん水が必要です。
- ◎大豆の葉の直立と裏返りは乾燥ストレスを受けている目安です。



図 大豆の葉の直立と裏返りの様子

2 かん水の方法

- ◎水尻と暗渠を閉じて、ほ場周囲の明渠を利用し、かん水しましょう。
- ◎かん水はできるだけ朝夕の涼しい時間帯に行い、ほ場全体に水が行き渡ったら速やかに排水します。
- ◎30a を超えるほ場では3日間に分けて徐々にかん水を行います。
- ◎過度のかん水や、排水が不良なほ場でのかん水は湿害を招くので注意が必要です。
- ◎地下かんがい設備がある場合には、地下水位を40～50 cmに制御します。
- ◎この時期は他の作物も水を必要とする時期ですので、近隣の状況にも十分配慮した上で、かん水可能なほ場で実施します。

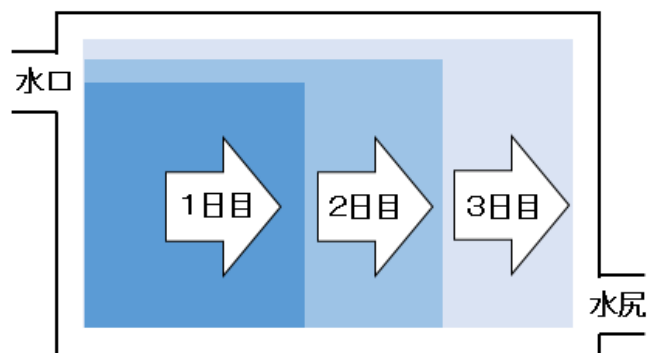

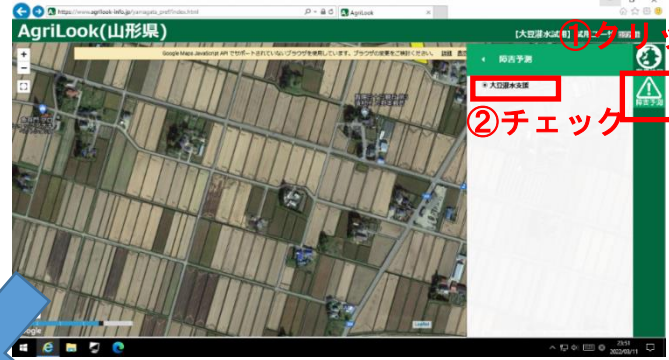



図 3日間に分けたかん水のイメージ

3 大豆かん水支援システムの活用を

- ◎大豆が受ける乾燥ストレスの推計ができ、かん水が必要なタイミングが把握できます。ぜひ活用下さい。
- ◎URL とログイン方法〔パソコンでご利用ください（スマホ未対応のため）〕
 - ・ URL : https://www.agrilook-info.jp/yamagata_pref/
 - ・ ユーザーID : kansuishiyou
 - ・ パスワード : kansuishiyou123

①  ② 

ユーザーID、パスワードを入力

③ 

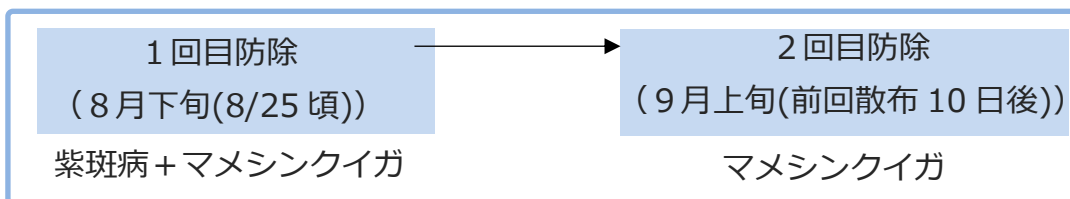
①各項目を入力

②クリック

③表示される

4 適期防除で病害虫防除を！

- ◎紫斑粒やマメシクイガの食害は収量・品質に大きく影響を及ぼします。適期を逃さないように防除しましょう。
- ◎**紫斑病は、開花25~35日後が防除適期**です。マメシクイガの1回目と同時防除が可能です。
- ◎**マメシクイガは、8月下旬（8月25日頃）と9月上旬（前回散布の10日後）の2回防除が基本**です。



農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！
 複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。
 また、こまめな休憩と水分補給、ゆとりを持った無理のない作業を心掛けましょう。